地域イノベーション進める　奈良県産業界

奈良県で地域産業を強化する動きが出ている。三つの世界遺産を筆頭に数多くの国宝・重要文化財を保有し、観光のイメージが強い同県だが、ここ数年は企業立地の推進や新産業創出へ向けた取り組みも目立つ。奈良県の荒井正吾知事は「経済活性化」を県政の大きな柱と位置づける。県が目指す自立した地域経済の確立へ向け、地域発イノベーションの挑戦が始まっている。

経済活性化へ攻勢

産学官の研究拠点も新設

奈良県

今年3月末に発表された、近畿経済産業局の2010年工場立地動向調査で、奈良県は前年比5件増の27件となった。立地件数は全国トップ10に入り、県が掲げた07年―10年の4年間で企業立地100件の目標は101件と達成。企業誘致制度の拡充やワンストップ相談窓口の設置など、ここ数年の企業誘致活動の成果が出つつある。

4月1日には、複数の産業支援機関が集まる奈良産業活性化プラザ（奈良市）内に、奈良県初の産学官共同研究拠点「なら産学官クリエイトセンター」が開設された。奈良県工業技術センターの一部施設を転用する形で拠点を整備。科学技術振興機構（JST）の支援を受け、1億4000万円を投じて最新機器も導入した。材料分析を行う研究機器や地場産業の繊維業界を支援するニット編み機、技術相談のためのテレビ会議システムなども配備し、専属コーディネーターも配置した。

同拠点は奈良県、奈良工業高等専門学校、奈良工業会の3者が中核機関となって運営し、施設管理は県工業技術センターが担う。大きな実績はまだ出ていないが、セミナーなども定期開催し、産学官共同で研究開発の芽作りが地道に進む。

奈良県が音頭をとり、産学官と金融機関が連携した農商工連携事業も推進中だ。今年4月、12機関が集まって奈良県植物機能活用クラスター協議会が立ち上がった。協議会会長に県の奥田喜則副知事が就任し、事務局を県工業支援課と奈良県中小企業支援センターが務める。農商工連携による開発プロジェクトを支援し、協議会としての情報発信も強化する。

農商工連携事業の新規プロジェクトとして3テーマを設定し、それぞれ地元企業を含む産学官ベースの開発チームが結成された。奈良女子大学が伝統植物の吉野クズを使い、女性の健康増進をテーマにした実証実験をスタート。

県工業技術センターと県酒造組合は共同で新しい酒の酵母を見つけ、香りや味覚の優れた清酒作りも進める。抗アレルギー効果などを想定した柿しぶ成分を活用した商品開発も行う。同事業は国の地域イノベーション戦略推進地域に選定され、今後のプロジェクト推進が期待される。

4月に開設した奈良県初の産学官共同研究拠点「なら産学官クリエイトセンター」（写真は3月の関係者向け見学会の様子）

「オンリーワン」を発掘

奈良中小支援センター　企業の成長後押し

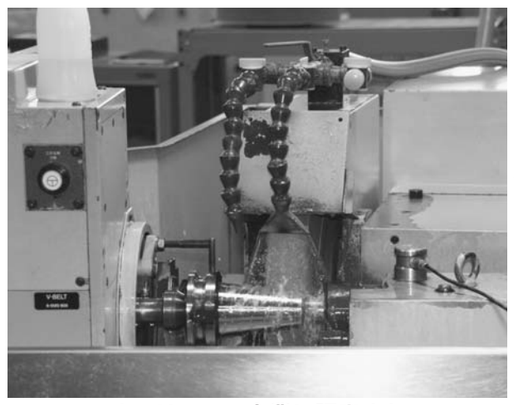
奈良県中小企業支援センターでは、4年前から奈良のモノづくり企業を対象にしたオンリーワン創出事業も展開中だ。技術の目利きができる民間出身の産業コーディネーターが、県の製造業約5000社の中からモノづくりや製品技術でオンリーワンを持つ企業を調査する。目星をつけた企業は直接訪問し、企業評価を経て評価委員会に申請し、オンリーワン企業の認定を行う。

認定企業には戦略的基盤技術高度化支援事業や新連携、農商工連携といった国などの支援施策ツールの活用を促し、事業のステップアップを支援する。この4年間で、約100社が国や県の支援施策の採択を受けた。

オンリーワン認定企業には県中小企業支援センターが仲介する形で、BtoB（企業間）マッチングも行う。

食品加工機械を展開する品川工業所（奈良県田原本町）が開発した高速混練造粒機の技術で、福井の企業との連携も生まれた。同センターの産業コーディネーターが、福井の産業支援機関を訪問し情報交換したのがきっかけとなり、県を超えた事業マッチングが成立した。

さらに奈良のコーディネーターが呼びかけ、京都や福井、和歌山、大阪、三重など約10の産業支援機関のコーディネーターが集まり、近畿コーディネーター会議を3月に発足させた。互いの持つ企業情報を公開しながら、企業支援の輪を着実に広げている。



オンリーワン企業に認定された工作機器メーカーの現場

大阪府立大・市立大と

奈良県中小企業家同友会　産学地域連携で協定

奈良の中小企業団体も独自に大学との連携を始めた。奈良県中小企業家同友会（奈良市）は9月下旬に大阪府立大学、大阪市立大学と「産学地域連携基本協定」を締結。同協定は両大学が「かかりつけ病院」のように地域の中小企業の技術相談に応じる「ホームドクター制度」に基づくもの。企業の技術開発や技術教育を支援し、新事業創出や人材育成で協力するのが目的だ。

中小企業がホームページ上で技術相談を書き入れると、両大学の連携共同オフィスのコーディネーターが相談内容に応じ大学の研究者などを無料で紹介する。案件によっては大学に実験や調査を依頼したり、共同研究に発展したりすることもある。大学から講師を派遣し、同友会会員を対象に研修を実施することも可能だ。大学が少ない奈良県の中小企業は「大学といろんな課題に向き合えるのはありがたい」（八坂豊・奈良県中小企業家同友会代表理事）と期待を寄せている。

奈良県は県初となるビジネスプラン募集事業「ビジコン奈良2012」も新たに始めた。全国から募集をかけ、2012年2月に最終審査を行い、新たな起業家の発掘・養成を狙っていく。

奈良には、奈良先端科学技術大学院大学という全国トップレベルの研究活動や教育活動を展開するユニークな大学もある。ヒトiPS細胞（万能細胞）の研究者として知られる山中伸弥京都大学教授も在籍していた経緯があり、「奈良先端大の存在なしに今の自分はない」といい切る。

奈良の地から生まれてくるイノベーションの芽を大事にし、行政や企業、大学のパワーをうまく結集できれば、県経済成長への原動力になることは間違いない。

新事業生む〝触媒〟に

インタビュー　工業会の果たす役割は？

奈良工業会会長　近東　宏光氏

奈良工業会は2010年度に創立25周年を迎え、県唯一のモノづくり団体として存在感を発揮する。モノづくり企業を中心に約190社の会員を抱え、事業成長に向けたイノベーションを図るべく、人材育成にも力を入れる。7月に3代目会長に就任した近東宏光氏（共同精版印刷社長）に、奈良のモノづくりの特徴や工業会の果たす役割、今後の活性化策などを聞いた。

▽◀▽

―奈良の製造業の特徴で感じていることは。

「奈良は観光県や農業県などといわれるが、県内GDPへの貢献や雇用面などで製造業が果たす役割は大きい。地場産業でも製薬や食品は堅調に推移し、機械や電機、金属加工などで特徴的な企業も多い。大手の下請け的企業も多く、受注をとり県外へ納める形態が目立つ。超円高など厳しい経営環境が続く中で、奈良の企業は品質向上やコスト削減を地道に取り組み、事業継続を図ってきた。派手な動きはないかも知れないが、結果的に失敗をしない、倒産が少ないことから、堅実さがある」

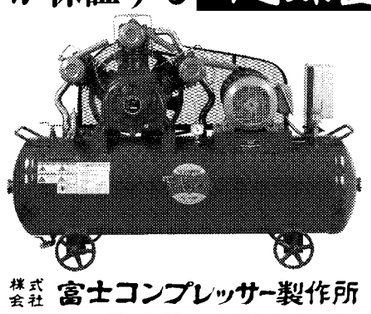
―新会長として、奈良工業会の果たす役割をどう見ていますか。

「前任の柴田前会長が強く掲げた『モノづくりは人づくり』の基本方針をしっかり継承していく。当工業会は新入社員から中堅・管理職から経営層まで幅広く教育事業に力を入れている。生産現場の改善研修だけでなく、従業員表彰や産業論文コンクールなどモチベーションを高めるメニューをそろえ、特に中小企業会員には体系的な人材育成ツールで有効活用してもらっている。県内工業高校への技術指導や企業視察などでも協力し、将来のモノづくり人材育成にも力を入れている」

―県産業の活性化への提言を。

「奈良は変わらないからいいという人もいるが、今後は従来型のモノづくりだけでは厳しい。当社が身を置く印刷業界でも、オンデマンド印刷など顧客に対して新しい付加価値の提案が不可欠になっている。グローバル化の動きも加速するだろう。工業会では、いい技術を持つ会員が多いことからも交流できる場を極力設けて、新事業などが生まれる触媒役を果たし、活性化につなげたい。また、奈良には誇るべき歴史・文化・自然があることから、それらを産業に結びつけることができれば、活性化への事例になるのではないか」

マークが保証する〝地球富士〟

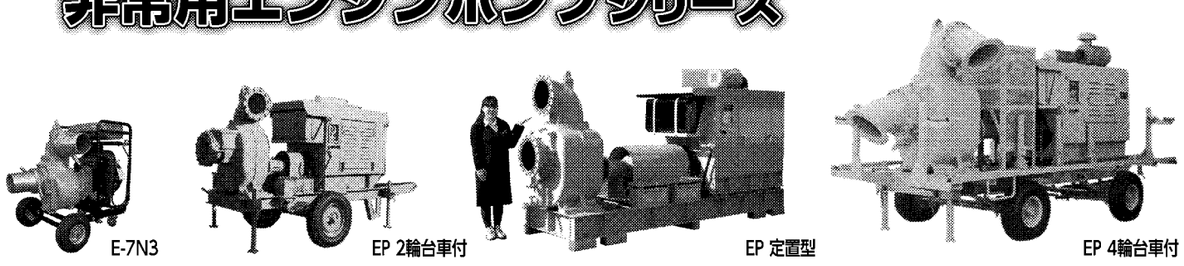


株式会社 富士コンプレッサー製作所
本社／〒639-1032 奈良県大和郡山市池沢町90-6 ☎0743(56)0681
東京・名古屋・福岡・札幌・広島・富山・仙台・大阪・奈良

社団法人 奈良工業会
会長 近東 宏光

奈良県商工会議所連合会
奈良商工会議所　会頭 西口 廣宗
大和高田商工会議所　会頭 中井 隆男
生駒商工会議所　会頭 久保 昌城
橿原商工会議所　会頭 森本 俊一

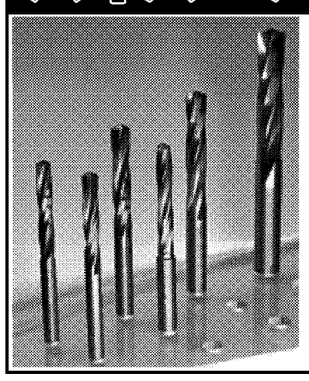
TERADA
非常用エンジンポンプシリーズ



E-7N3　EP 2輪台車付　EP 定置型　EP 4輪台車付

株式会社 寿田ポンプ製作所
〈本　社〉〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3-17 TEL:0745-52-5101 FAX:0745-23-0013
〈営業所〉東京/北関東/仙台/新潟/名古屋/浜松/大阪/岡山/高松/広島/福岡/鹿児島
URL：http://www.teradapump.co.jp/　MAIL：info@teradapump.co.jp/

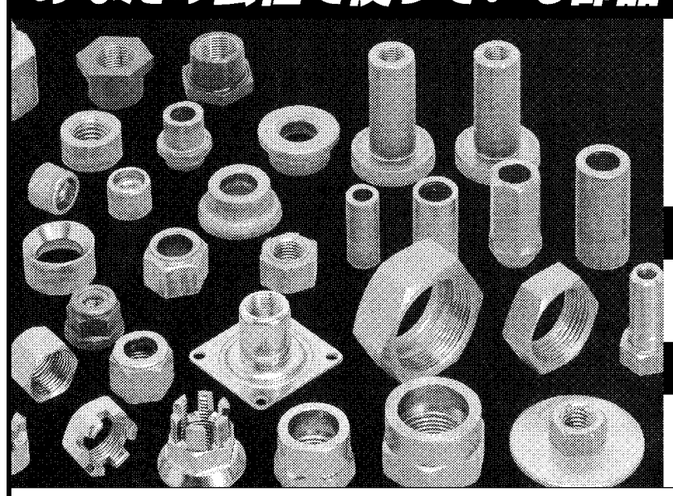
ハイパーバニシングドリル Hyper Burnishing DRILL（アルミ・FC用）



ねじ下穴サイズ対応（切削・転造タップ並目2級）
アルミ加工において、直刃バニシングドリルの……切削速度2倍　送り速度2倍
穴精度・面精度は……直刃バニシングドリル並みの精度を維持
スラスト値を大幅低減させ……長寿命加工が可能

超硬切削工具
株式会社 アサヒ工具製作所
本社・工場 〒639-0242 奈良県香芝市北今市2-261-2　TEL.0745-77-6120(代)　FAX.0745-77-6112
関東営業所 TEL.03-3845-3181(代)　名古屋営業所 TEL.052-671-3875(代)
http://www.asahikougu.co.jp　E-mail:main@asahikougu.co.jp

あなたの会社で使っている部品　今のままでいいですか?



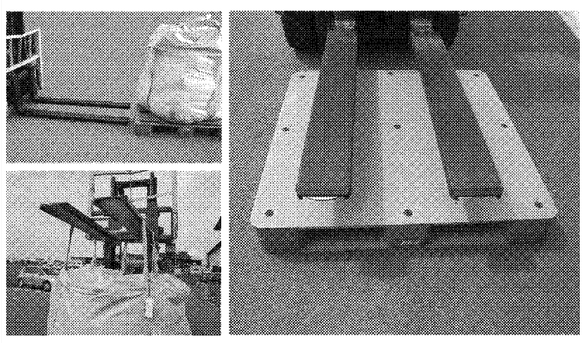
数量が多くて入荷が心配だな～
切削加工数が多くて困ったな～
加工箇所が増えてキャパが足りないぞ…
この部品を圧造で出来るところ知ってる?
相談するところがない…お困りのあなた
私たちと一緒に新しい形を創造しませんか?

めざしているのはハート&クオリティー
当社は、より安定したパーツ部品及び特殊ナットをお届けできる品質管理システムを確立いたしました。

国際規格 ISO9001 取得認定企業
営業品目
●特殊冷間圧造部品
●特殊形状ナット
●規格ホーマーナット　その他

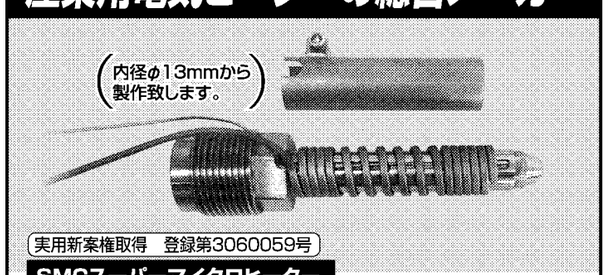
大洋ナット工業株式会社
本社法隆寺工場　〒636-0103　奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-6-12　TEL0745-74-0771 FAX0745-74-4745
大和郡山工場（営業本部）　〒639-1042　奈良県大和郡山市小泉町2515-1　TEL0743-58-6066
伊賀上野工場　〒518-0000　三重県上野市ゆめが丘7丁目5番
http://www.taiyo-nt.com/

マジックベルト フレドメII
ロープ切れ解消と滑りを防止!!
フレコンバックとパレット作業が同時に出来ます。



株式会社 エキブル製作所
本社・工場　〒639-1116　奈良県大和郡山市伊豆七条町172-1　☎0743(57)6891 FAX0743(57)6893
関東営業所　〒333-0821　埼玉県川口市東内野566-18 ☎048(296)8421 FAX048(296)8424

産業用電気ヒーターの総合メーカー



実用新案権取得　登録第3060059号
SMCスーパーマイクロヒーター
●極薄平板形状、射出成形ノズル、ホットライナーシステム、その他極小スペースでの使用に最適。
●厚さ2.2mm、幅4.5mm（標準品）。密着部以外は発熱しません。
●従来の丸型マイクロヒーターと比較すると密着面積が10倍以上拡大のため熱効率では群を抜きます。
●非発熱部も自由に長さを設ける事が出来るため安全性が高く高絶縁、長寿命、外側にはヒーターカバーが有りますのでしっかりと固定出来ます。
◆コンパクト
◆高機能
◆高絶縁
◆長寿命
◆高い熱効率
◆省エネ型
◆多様な用途
各種カートリッジヒーター・熱電対も製造しております。（バランスヒート）
株式会社 近畿電熱機器製作所
〒639-0227 奈良県香芝市鎌田342-1
TEL.0745-77-1141(代)　FAX.0745-77-1127
ホームページ　http://www.kinkidennetsu.com
E-mail　info@kinkidennetsu.com